

2021 年度 サッカー審判資格昇級について（改訂版）

十勝少年サッカー連盟審判委員会

○4 級→3 級への昇級

1. 大まかな流れ

一次試験（第 4 種カテゴリーでの実技のみ） ※少年連盟審判委員会主催

↓合格者

最終試験（第 3 種カテゴリーでの実技+走力・学科試験） ※十勝地区協会審判委員会主催

↓合格者

☆**サッカー審判員 3 級資格認定**☆

2. 各試験の詳細

①一次試験

- ・緊急事態宣言に伴う事業計画の変更を受け、今年度も年間 1 回の実施とします。
- ・7 月中に開催予定の「全日本 U-12 サッカー選手権大会十勝地区予選 2 次ラウンド」において実施します。
- ・主審を中心に担当していただき、合格基準に達した方は最終試験に進みます。
- ・合格の主な基準は①判定の的確性（規則の適用、アドバンテージ）②ゲームコントロール（笛やシグナル、カード適用）③ポジショニング（体力や動き、11 人制フルピッチでも対応できるか）④副審との協力（シグナルの対応やアイコンタクト、視野の向きなど）です。概ね 85% の到達で合格となります。

②最終試験

- ・大会日程と調整しながら随時行います。
- ・実技の大会は「十勝地区カブスリーグ U-15」です。11 人制で 35 分ハーフの予定です。
- ・女性については少年カテゴリーの試合が対象となります。
- ・走力と学科については実技と別会場別日程になります。
- ・合格の基準は一次試験とほぼ変わりません。ただ、8 人制と 11 人制のルールの違いや、コートのおよびサイズの違い、更には選手のスピードやキック力も違うので、その部分にしっかりと対応できるかがポイントとなります。

※最終試験の受講にあたって【重要】

- ・受験者は基本的にピッチサイズ 105×68 ㍍での審判経験が数試合必要です。近隣の中学校の試合（練習試合や紅白戦でも可）で予め経験を積んでください。
- ・105×68 ㍍で経験する場がない方は、審判委員会で調整しますのでお知らせください。

担当：審判委員会副委員長 山田卓良 shstt131620@dune.ocn.ne.jp

3. 昇級試験への参加条件

- 8人制もしくは11人制サッカーの主審経験を10試合以上積んでいる。(学年や大会、公式戦や練習試合は問いません) ※今年度より、主審記録を申込書にご記入ください。
 - 副審の経験を10試合程度積んでいる。
 - 3級昇級に向けた強い意欲がある。また、審判技術向上に向け積極的に学ぶ姿勢がある。
- ※サッカー経験の有無は全く関係ありません。未経験の方でも条件を満たしていればOKです！

4. 事前指導について

- 事前指導については、7月11日(日)に開催予定のU11 嗚呼運転代行社杯での実施を検討中です。
- 事前指導への参加は必須ではありませんが、一次試験を前にインストラクターの指導のもと、審判技術の向上をはかる機会になりますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。
- その他の大会でもインストラクターが対応可能であれば随時事前指導を行うことが可能です。少年連盟の審判委員会までご連絡ください。
- 事前指導を実施できない、もしくは実施できても十分な機会を確保できないことが考えられます。所属チームで主審経験の機会(紅白戦、練習試合など)を確保できるよう、ご協力をお願いします。

5. 参加申込みについて

- 申込み書を各チーム宛てにメールで送りますので、必要事項をご記入の上、担当まで送信してください。
- 試験受講中の連絡はメールで行います。審判の割り当て等は添付ファイル(ワードやエクセル)でお知らせしますので、対応可能なメール環境をご準備ください。
- 既に前期分で申込み済みの方については、新たに申込みをする必要はありません。事前指導の希望や、一次試験希望日などは、個別に担当まで連絡をお願いします。また、前期に申込み済みの方で、日程変更などの理由でキャンセルすることも可能です。

○3級→2級への昇級

- 個別の対応となりますので、希望される方は審判委員会までご連絡ください。
- 試験内容は①実技試験(社会人や高校生の90分ゲーム)②走力試験③学科試験となります。
- 詳しくは北海道サッカー協会のホームページに、昨年度までの要項等がありますので、そちらをご確認ください。